

- 実施主体 熊本県立阿蘇中央高等学校グリーン環境科
- 実施場所 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎、小柏演習林ほか
- 実施期間 平成27年4月～平成28年3月



### ◇背景・ねらい

本校グリーン環境科は、前身の阿蘇農業高校、阿蘇清峰高校の頃より小柏演習林周辺の輪地切り、輪地焼き、野焼きを授業の一環として実施し、演習林および草地の維持管理に取り組んできた。平成22年度より学科名称を変更し、林業や草原維持を通して地域環境を守る人材育成を目指している。本活動で、生徒たちは阿蘇の草原の成り立ちや農林業との関係などについて学習する。また、近年の草原面積減少やそれから派生する地域課題を、生徒たちが主体的に解決し、地域に貢献することを目的としている。

### ◆実施概要

- ①植物調査：参加者10人（生徒4、職員2、専門家4）
  - ・竜神牧野内の放棄地にて、再生活動及び植物調査を実施した。環境省や専門家に指導していただき、細かなデータを取ることができた。今後も毎年実施していく予定である。
- ②火消し棒づくり：参加者18人（1年生）
  - ・地元牧野の方に指導していただき、野焼きに初めて参加する1年生を対象に、火消し棒製作を行った。初めて経験する生徒ばかりで、興味を持って製作した。
- ③草原再生募金活動の実施：参加者10人
  - ・本校文化祭で募金活動を行った。集まった募金は、阿蘇草原再生募金事務局へ届けた。
- ④輪地切り、輪地焼きの実施（小柏演習林）：参加者28人（2、3年生）
  - ・演習林が隣接する草地の防火帯作りを実施。隣接する林家さんが高齢で作業ができないとの相談があり、生徒達がボランティアとして手伝いを行った。
- ⑤野焼き（小柏演習林）：参加者38人（生徒27、職員5、牧野組合6）
  - ・立山牧野組合と連携して1、2年生が参加して野焼き実習を行った。
- ⑥茅葺き屋根のポスト製作：参加者4人
  - ・課題研究の授業内で、ススキの利用方法を検討し、茅葺きポストを製作して、草原学習センター及び道の駅阿蘇に設置した。



植物調査



茅葺きポスト製作

### ◆実施体制

- ・立山牧野組合（野焼き）
- ・竜神牧野組合（植生調査）

### ◆成 果

- ・グリーン環境科の全生徒（57人）が参加し、草原維持活動を実施することができた。
- ・募金活動や茅葺き技術の継承、植生調査など様々な活動を展開することができた。
- ・高齢で作業できないお宅の防火帯作りなど地域貢献もすることができた。

### ◆実施者の感想

- ・草原維持活動や植物調査、火消し棒の製作は今後も継続して取り組んでいきたい。また、地域の子どもたちを対象とした教育活動の実施も考えている。今後も地域の高校として草原再生、環境、農業を守る活動を継続していきたい。